

クラウド運用管理

クラウド環境のジョブ連携でお困りではありませんか？



近年、ビジネス環境の変化への迅速な対応やワークスタイル変革等を背景に、システムのクラウド化が加速しています。会計管理システムや物流管理システムなど、これまでオンプレミスでの稼働が当然だった基幹システムでもクラウド利用が進みつつあります。とはいえ、すべてクラウドに移行されるわけではなく、システム特性に応じてオンプレミスもしくはクラウドのいずれか最適なものを選ぶ、ハイブリッドなシステム環境となっています。

ハイブリッドな環境下で効率的かつ確実にシステム運用するためには、統合的な運用管理が必要不可欠です。さらに、企業・組織のビジネス・業務を支える基幹システムは、さまざまなシステムと密接な関わりを持つため、バッチ処理によるデータの同期や集計処理などの連携（ジョブ連携）を行う必要があります。そこでここでは基幹システムと関連性が深いジョブ管理についてご紹介します。

クラウド上のジョブをどう制御する？

企業や組織に合ったジョブのスケジュールは可能か？

「クラウド上のジョブ制御には意外な落とし穴が」

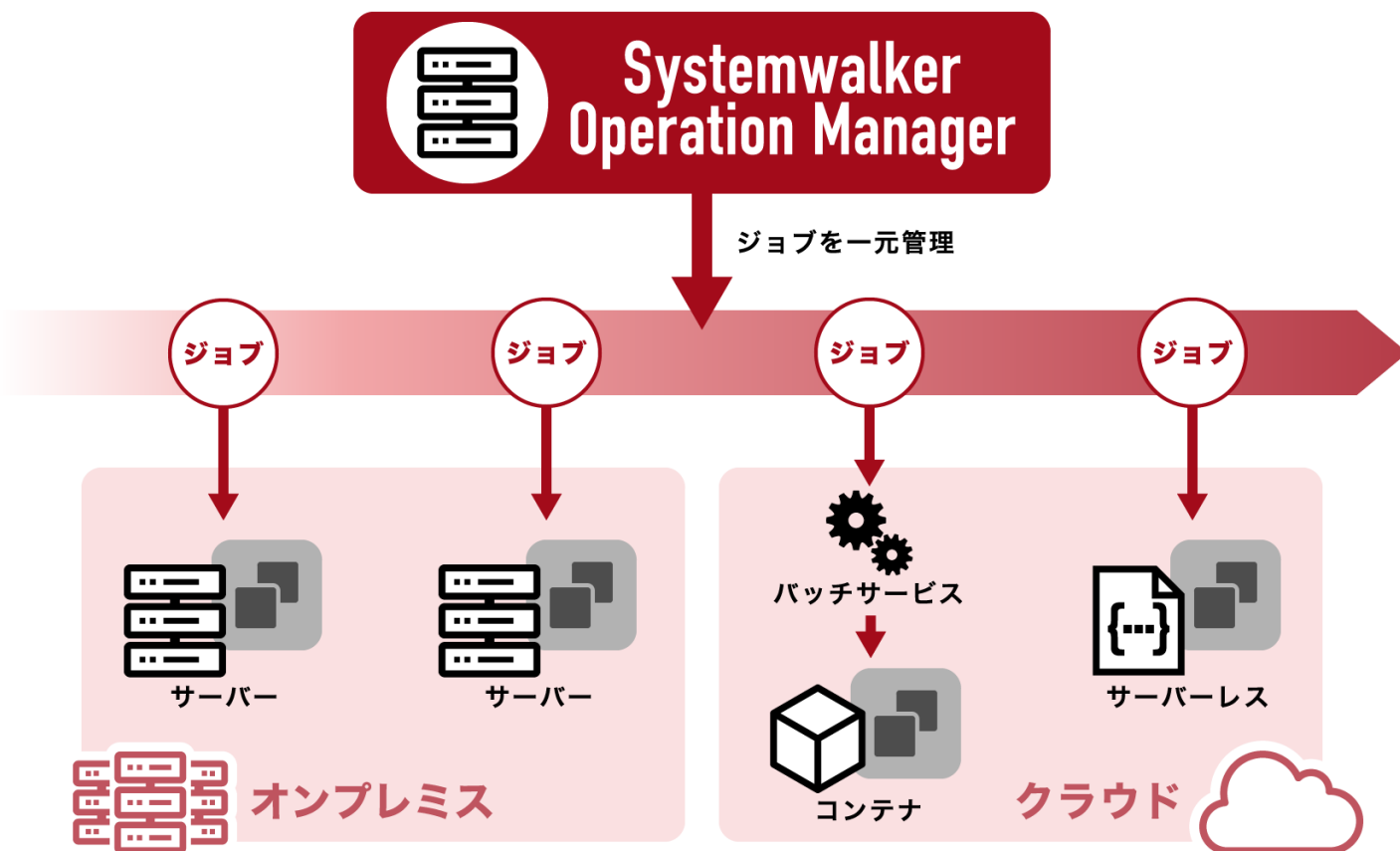
クラウド上のジョブをどう制御する？

クラウド上のジョブを制御するという点で、まずシステム管理者はクラウドベンダーが提供するジョブ制御サービス（バッチサービス）の利用を検討されるのではないのでしょうか。しかしそれらが制御する対象は、クラウドベンダーが提供するサービスに限定され、残念ながら周辺にあるオンプレミスや他のクラウド上にあるシステムは対象外になります。

では、従来のジョブ制御の仕組みを使って、クラウド上のジョブを簡単に制御できる方法はあるのでしょうか。クラウドのバッチサービスの処理（ジョブ）は、REST APIを使って起動できますが、処理が完了するまでの制御を行うのは大変です。というのも、処理に時間がかかるバッチ処理は起動（キック）できるものの、終了の待合せまでは行えないため、待合せのためのロジックを自前で組む必要があるからです。またキャンセル処理やアクセス認証のためのロジック構築・実装も必要となり、不具合が起こったときの対処もすべて個別に行うこととなり、業務負荷は大きくなります。

オンプレミス・クラウド上のジョブをシームレスに連携

クラウド上のジョブ呼出および制御を行えるSystemwalker Operation Managerを使えば、ジョブの呼出から終了の待合せなどのロジックを簡単に実行できます。しかもオンプレミスやクラウドなどの異なるインフラ環境間をシームレスに連携でき、安心かつ効率的に管理できます。



Systemwalker Operation ManagerではAWSやMicrosoft Azure上に実装されたジョブ制御が可能です。

「クラウド上のジョブ実行のスケジューリングを行うのは大変」

自社の商習慣に合わせたスケジューリングはどうすればできる？

クラウドベンダーが提供するジョブ制御サービスのスケジューリング機能は、基本的に曜日や日付などの条件しか指定できず、業務都合にあった条件（営業日等）を指定したスケジューリングができない場合があります。複雑なスケジューリングでジョブを実行させたい場合には、ジョブの実行日時を1つずつ手作業で登録する必要があり、人為ミスにつながりかねません。

企業や組織の業務に応じた柔軟なスケジューリング

営業の締め日が異なるように、企業によって商習慣は違います。例えば、第3営業日指定でジョブ実行を指定していた場合、Systemwalker Operation Managerでは休日等を考慮して実行すべき日時を自動で計算して、その日時にジョブ実行できます。また、年末年始や期末などで通常時とは異なる処理を実施する必要がある場合も、特別運用期間を設定しておくことで処理の切替を自動で行うことができます。

毎月第3営業日の1:00に前月分の集計処理を実行

月初に休日が入らない月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10		12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

月初に休日が入る月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

休日を考慮しシフト



集計処理

ビジネスを支えるシステムは急速なスピードで進化し、ハイブリッドなインフラ環境となっています。そのシステムの円滑な動作を支える重要な役割の一端をジョブ管理は担うものとなります。今回ご紹介したSystemwalker Operation Managerを使えば、企業や組織の業務を支えるシステム間のスムーズな連携を実現できます。さらに動的なシステムリソース配置にも対応したジョブ制御を実現することで、クラウドの良さである「必要なときに必要な分だけを使用する」を活かすことができ、全体のコスト最適化にも貢献できます。

導入の効果

「[Systemwalker Operation Manager](#)」を導入すれば、次のような効果が期待できます。

- ✓ オンプレミスやクラウド、クラウドサービスなど、ハイブリッドなインフラ環境下でもシームレスにジョブ連携を実行できます
- ✓ ジョブスケジューリングに必要な機能を網羅。業務の自動運転と安定稼働を実現します
- ✓ 動的なリソース配置等に対応したジョブ制御を実現することで、全体としてのコストの最適化に貢献します



本コンテンツに関するお問い合わせは

■ Webでのお問い合わせ

<https://global.fujitsu/ja-jp/local/software/cloud-operation/>

富士通株式会社